【報道関係各位】

2013年7月29日

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、そして子どもを産み育てやすいデザインの顕彰制度

『第7回キッズデザイン賞』 上位賞受賞作品一覧

キッズデザイン協議会(内閣府認証NPO、本部:東京都港区、会長:和田勇)は、子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つデザインを顕彰する「第7回キッズデザイン賞」受賞作品211点の中からより優れた作品として、最優秀賞・優秀賞・奨励賞・特別賞の上位賞計34点を決定いたしました。

■最優秀賞「内閣総理大臣賞」(1点)

全受賞作品の中から最も優れた作品として
★「子どもの未来デザイン 感性・創造性部門」
『「触れる地球」 中型普及版』(株式会社JVCケンウッド/NPO法人 Earth Literacy Program)

■優秀賞「経済産業大臣賞」(4点)

【子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン】として
★「子ども視点の安全・安心デザイン 子ども部門」より、
『MOW(モウ)シリーズ』(森永乳業株式会社)

★「子ども視点の安全・安心デザイン 一般部門」より、
『転倒流水防止構造つき蒸気レス電気ケトルPCH-G型』(タイガー魔法瓶株式会社)

【子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン】として
★「子どもの未来デザイン 感性・創造性部門」より、
『「デザインあ」番組及び展覧会を通じたデザイン教育』
(NHK(日本放送協会)/NHKエデュケーショナル/21_21 DESIGN SIGHT/
公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団)

★「子どもの未来デザイン 学び・理解力部門」より、
『コドモ里山ラボ東京森都心』
(積水ハウス株式会社、株式会社アクタス、コクヨ株式会社、株式会社ジャクエツ、パナソニック株式会社)

■優秀賞「少子化対策担当大臣賞」(2点)

【子どもたちを産み育てやすいデザイン】として
★「子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門」より、
『ベビー休憩室コンセプトブック』(コンビウィズ株式会社)

★「子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門」より、
『有田市立そとはま保育所』(有田市/アトリエ・アースワーク)

■優秀賞「消費者担当大臣賞」(1点)

【キッズデザインの3つのデザインミッションのいずれかに基づくテーマデザイン】として、
★「未来を担う消費者デザイン部門」より、
『静岡市こどもクリエイティブタウン『ま・あ・る』による「しごと・ものづくり体験」』(株式会社丹青社/静岡市)

この他、奨励賞「キッズデザイン協議会会長賞」(18点)、特別賞「審査委員長特別賞」(7点)、特別賞「TEPIA特別賞」(1点)、の計34作品が受賞しています。「上位賞受賞作品一覧」及び受賞作品の概要と審査評は次頁からの通りです。

「第7回キッズデザイン賞」上位賞　部門別　受賞作品一覧　- 1/2

＜デザインミッション＞					
部門（応募数、第7回キッズデザイン賞受賞数、上位賞数）					
受賞作品					
受賞賞		番号	品目名	応募者　応募団体名	分野
＜全受賞作品の中から最も優れた作品（応募数：383点、キッズデザイン賞受賞：211点）＞					
最優秀賞	内閣総理大臣賞	130233a3	「触れる地球」 中型普及版	株式会社JVCケンウッド/NPO法人　Earth Literacy Program	商品デザイン分野
＜子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン＞					
子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン　子ども部門（応募数：44点、第7回キッズデザイン賞受賞：25点、上位賞：4点）					
優秀賞	経済産業大臣賞	130162a1	MOW（モウ）シリーズ	森永乳業株式会社	商品デザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130300c1	小児がん治療中の子どもたちとその家族のための夢の治療環境『チャイルド・ケモ・ハウス』	公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金／NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス／手塚貴晴＋手塚由比／手塚建築研究所／積水ハウス株式会社	コミュニケーションデザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130260a1	ステンレスセーフティ鉄棒	株式会社ジャクエツ環境事業	商品デザイン分野
特別賞	審査委員長特別賞	130175a1	エアゴール	PAEグローバル株式会社	商品デザイン分野
子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン　一般部門（応募数：58点、第7回キッズデザイン賞受賞：37点、上位賞：5点）					
優秀賞	経済産業大臣賞	130014a2	転倒流水防止構造つき蒸気レス電気ケトル　PCH-G型	タイガー魔法瓶株式会社	商品デザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130130a2	コードレスブラインドシリーズ「コードフリー」	大湖産業株式会社	商品デザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130311a2	通風建具 ルーバードア/引戸	株式会社　LIXIL	商品デザイン分野
★ 奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130312c2	人類本来の色覚多様性に適応した視覚情報デザインを研究・改善・認証するCUDプロジェクト	特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構	コミュニケーションデザイン分野
特別賞	審査委員長特別賞	130021a2	視覚障がい者歩行誘導ソフトマット「歩導くん」	錦城護謨株式会社／トーワ株式会社	商品デザイン分野
＜子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン＞					
子どもの未来デザイン　感性・創造性部門（応募数：95点、第7回キッズデザイン賞受賞：38点、上位賞：7点）					
優秀賞	経済産業大臣賞	130229c3	「デザインあ」番組及び展覧会を通じたデザイン教育	NHK（日本放送協会）／NHKエデュケーショナル／21_21 DESIGN SIGHT／公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団	コミュニケーションデザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130320c3	CAMPファシリテーター	SCSK株式会社	コミュニケーションデザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130216d3	ものとこどもの観察ブック	甲斐智恵／内山俊朗（筑波大学）	リサーチ部門
特別賞	審査委員長特別賞	130141a3	フレーベル　セレクトトイシリーズ	株式会社フレーベル館	商品デザイン分野
特別賞	審査委員長特別賞	130275b3	りんでん保育園	社会福祉法人　法林会／工藤和美+堀場弘/シーラカンスK&H	建築・空間デザイン分野
特別賞	TEPIA特別賞	130097a3	ニコンネイチャースコープ「ファーブルシリーズ」	株式会社ニコン／株式会社ニコンビジョン	商品デザイン分野
子どもの未来デザイン　学び・理解力部門（応募数：57点、第7回キッズデザイン賞受賞：29点、上位賞：4点）					
優秀賞	経済産業大臣賞	130322c4	コドモ里山ラボ東京森都心	積水ハウス株式会社／式会社アクタス／コクヨ株式会社／株式会社ジャクエツ／パナソニック株式会社	コミュニケーションデザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130084d4	子どもの環境行動分析による園庭・園舎デザイン検証プロジェクト	株式会社ミサワホーム総合研究所/早稲田大学佐藤将之研究室/社会福祉法人コビーソシオ	リサーチ部門
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130149a4	Mirai Child Education Project（ミライプロジェクト）	株式会社センタウェーブ／株式会社システムクリエイツ	商品デザイン分野
★ 奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130315c4	一般色覚児童と色弱者児童が共用・共有できる教育環境作りを支援するCUDプロジェクト	特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構	コミュニケーションデザイン分野
＜子どもたちを産み育てやすいデザイン＞					
子どもの産み育て支援デザイン　個人・家庭部門（応募数：67点、第7回キッズデザイン賞受賞：39点、上位賞：5点）					
優秀賞	少子化対策担当大臣賞	130217c5	ベビー休憩室コンセプトブック	コンビウィズ株式会社	コミュニケーションデザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130200a5	「アンジェリーノ プティット」（電動アシスト自転車・自転車）	ブリヂストンサイクル株式会社	商品デザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130193a5	伝統文化を育児に活かす「おおしまつむぎ」	窪田織物株式会社	商品デザイン分野
特別賞	審査委員長特別賞	130339a5	電動鼻水吸引器　ベビースマイル　S-302	シースター株式会社	商品デザイン分野
特別賞	審査委員長特別賞	130168a5	BABYZEN YOYO　3つ折りストローラー「ヨーヨー」	株式会社ティーレックス	商品デザイン分野

★は、3点で「色覚多様性の研究と理解促進、及び色弱者児童に対する教育環境づくりの支援」として「奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞」を受賞

＜デザインミッション＞					
部門（応募数、第7回キッズデザイン賞受賞数、上位賞数）					
受賞作品					
＜子どもたちを産み育てやすいデザイン＞					
受賞賞		番号	品目名	応募者　応募団体名	分野
子どもの産み育て支援デザイン　地域・社会部門（応募数：33点、第7回キッズデザイン賞受賞：19点、上位賞：3点）					
優秀賞	少子化対策担当大臣賞	130068b6	有田市立そとはま保育所	有田市／アトリエ・アースワーク	建築・空間デザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130103c6	ハッピープールれんらくちょう	株式会社エクスプラウド	コミュニケーションデザイン分野
★ 奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130324c6	色弱者当事者及びその家族に対し、色覚多様性の理解と生活上の相談・助言プロジェクト	特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構	コミュニケーションデザイン分野
＜上記のデザインミッションのいずれかに基づくテーマデザイン＞					
未来を担う消費者デザイン部門（応募数：10点、第7回キッズデザイン賞受賞：7点、上位賞：4点）					
優秀賞	消費者担当大臣賞	130252c7	静岡市こどもクリエイティブタウン『ま･あ･る』による｢しごと･ものづくり体験」	株式会社丹青社／静岡市	コミュニケーションデザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130241c7	子ども達に未来の学びを伝える、新たな地域図書館ワークショップ	富士通デザイン株式会社／株式会社メタデザイン／長崎市立図書館	コミュニケーションデザイン分野
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130269c7	旅いく	株式会社JTBコーポレートセールス	コミュニケーションデザイン分野
特別賞	審査委員長特別賞	130206a7	magno（マグノ）	Singgih Susilo Kartono – Piranti Works / Mie Suzuki – Amber	商品デザイン分野
復興支援デザイン部門（応募数：19点、第6回キッズデザイン賞受賞：17点、上位賞：4点）					
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130195f8	東北復興支援プログラム｢きっと わらえる 2021」	パナソニック株式会社	復興支援デザイン
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130220f8	被災地の子どもたちに将来の夢を！｢家族ロボット教室」	株式会社富士通コンピュータテクノロジーズ／岩手県／岩手県立大学／一関工業高等専門学校／NPO法人 WRO Japan	復興支援デザイン
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130284f8	東北子どもまちづくりサミット	公益社団法人セーブ･ザ･チルドレン･ジャパン	復興支援デザイン
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	130288f8	みどり豊かで笑顔あふれるまちを目指す『まちみどりプロジェクト』	積和建設東北株式会社／積水ハウス株式会社	復興支援デザイン

★は、3点で｢色覚多様性の研究と理解促進、及び色弱者児童に対する教育環境づくりの支援」として｢奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞」を受賞

全8部門の中で最も優れた作品

最優秀賞　内閣総理大臣賞

■作品名　「触れる地球」中型普及版（応募番号：130233a3 ）

■企業・団体名　株式会社JVCケンウッド/NPO法人　Earth Literacy Program

《開発の考え方》

地球環境意識の高まりによる価値観の変化の中、地球環境情報を複合的かつ直感的に感じ、将来の環境変化の予測もできる地球儀型デバイスです。第一線の研究機関から提供される多角的な情報によりインタラクティブなコミュニケーション環境を創造し、世界中の子供たちが地球リテラシーを育むことを目的としています。

《仕様》

地球儀表面に内側から映像投影しています。地球儀を手で回すとセンサーが感知して動きを映像再現し、実際に丸い地球を回しているような操作感が得られます。コンテンツは併設のタブレット端末で切り替えます。

《審査評》

「地球儀ではなく地球人をつくる」、というプロジェクトテーマに象徴されるように、子どもたちにグローバル時代の気づきと学びを与える、日本発の画期的な情報リテラシーツールとして、最優秀賞にふさわしい作品と判断した。各研究機関からリアルタイムに提供される情報によって、地球環境の過去・現在・未来が可視化されるとともに、子供たち自らが球体というインターフェイスを回しながら好奇心と向学心を喚起することができる、全く新しいインタラクティブメディアであり、新規性、独創性が極めて高い。また、日本の先端的な、超硬アクリルなどの材料技術、加圧センサーなどの情報技術を導入することで、高精細な映像や操作性を実現しており、プロダクトとしてのデザインクオリティにも優れている。学校、自治体、科学館などへの導入が見込まれ、クールジャパンな情報メディアとして海外への普及も期待できるキッズデザインプロダクトとして高く評価したい。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 子ども部門

子ども（０～１５歳）を直接の対象とする製品、施設、サービスにおいて、安全に配慮されたもの。

優秀賞　経済産業大臣賞

■作品名　　MOW（モウ）シリーズ　（応募番号：130162a1）

■企業・団体名　森永乳業株式会社

《開発の考え方》

子供に安心して食べてもらえる商品は全ての人に食べてもらえる優しい商品であるとの想いから、子供にも安心して食べてもらえる商品を目指して開発しました。特に素材が本来もっている味を楽しんでもらうこと、素材本来の味を引き出すために、極力少ない原料でシンプルに味作りすることにこだわりました。

《仕様》

・MOWの代表的な商品MOW濃厚ミルクバニラの原料は5種類（乳製品、水あめ、砂糖、卵黄、香料）だけで作られています。

・乳化剤・安定剤不使用。

《審査評》

子どもの好きなアイスクリームにも安心を、という発想から乳化剤や安定剤を使用せず、必要最低限の原料のみを使用した製品である。子どもの安全安心の視点が製品や空間における事故予防の取り組みに留まらず、身近な食の分野においても広がっていくことは非常に重要である。今後の展開、拡張に期待を込めて、今回の評価とした。

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 子ども部門

子ども（０～１５歳）を直接の対象とする製品、施設、サービスにおいて、安全に配慮されたもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　小児がん治療中の子どもたちとその家族のための夢の治療環境『チャイルド・ケモ・ハウス』（応募番号：130300c1）

■企業・団体名　公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金／NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス／手塚貴晴＋手塚由比／手塚建築研究所／積水ハウス株式会社

《開発の考え方》

自分の家のような環境で家族が共に暮らしながら小児がん患者が安心して化学療法を受けることができる日本で初めての施設です。半年以上にわたる長い治療期間を、子どもも親やきょうだいも笑顔で過ごせるような環境を実現。建築家・手塚貴晴氏＋手塚由比氏のデザインと、積水ハウスの工業化住宅の高品質、先進技術のコラボで実現しました。

《仕様》

家族がゆったりと過ごせる家のような空間にこだわり、庭の見える大きな開口、トップライト等で明るい空間を実現。プライバシーにも配慮し、各個室にキッチン、トイレ、バスを完備。各個室は外からも出入でき家族が触れあえます。室内空気質にも徹底配慮。24時間医師や看護師のいる診療所を併設し、「生活」と「治療」の両面が充実する日本初の施設です。

http://www.kemohouse.jp/07_shisetsu.html

《審査評》

ハード・ソフトともにさまざまな制約がある小児がん治療中の子どもと家族のために、一緒に暮らせる「家」をテーマとした空間を提供し、患児の心身のケアをサポートする環境を実現している。関連団体、民間企業、自治体、デザイナーの協働によるプロジェクトであり、社会提案性が極めて高い取り組みとして評価した。同様の環境にある子どものために全国へ波及されることを期待したい。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　ステンレスセーフティ鉄棒（応募番号：130260a1）

■企業・団体名　株式会社ジャクエツ環境事業

《開発の考え方》

構造上必要なボルトは外部に剥き出すことはせず、ジョイント内部にある突起を代わりにしボルトを不要とした。これによりボルトの突起による怪我の懸念が解消された。しかし繰り返し使用による突起の破損が懸念され、独自で標準使用期間内を上限とし繰り返し使用の基準を定め、振動試験を行い破損の検証を行った。

《仕様》

材質：支柱、握り棒、ジョイント部　SUS304

サイズ：高さ　900、1000、1100㎜（3段）　幅5,500㎜　奥行き60㎜

《審査評》

鉄棒は構造がシンプルであるがゆえに、さまざまな遊び方で使われるケースが多く、それに伴う事故事例も報告されている。本製品は衝突や衣服のひっかかりによる首つり事故などの原因となりうるボルトの突起に着目し、構造的にボルトが外部に出ない工夫を施して事故予防対策に配慮している。細部にわたる事故事例検証とデザインによる解決を施した好例である。

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 子ども部門

子ども（0～15歳）を直接の対象とする製品、施設、サービスにおいて、安全に配慮されたもの。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　エアゴール　（応募番号：130175a1）
■企業・団体名　PAEグローバル株式会社

《開発の考え方》
園児や小学生の授業・レクリエーションの場においては、可能な限り事故のリスクが取り除かれるべきと考えます。しかし現在の我が国では、金属などの固い素材のサッカーゴールが主流です。そこでポリ塩化ビニルのホースに空気を充填するという新しい方式を取り入れ、安全性を向上させました。コンセプトは安心・便利・簡単。

《仕様》
【サイズ】各種　【材質】（本体）ポリ塩化ビニル、ポリエステル、ABS樹脂
【付属品】エアポンプ、収納バッグ、取扱説明書等

《審査評》
学校現場においてサッカーゴールの転倒による重篤な事故事例が報告されている。金属製の場合、運動時における衝突事故のリスクもある。スポーツやレクリエーション時における事故防止に寄与するポリ塩化ビニル製の柔らかなゴールであり、持ち運びもできるため利用範囲も広い。スポーツ現場での子どもの安全に寄与する新たな分野の提案として評価した。

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門

子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性があるもので、安全に配慮されたもの。

優秀賞　経済産業大臣賞

■作品名　転倒流水防止構造つき蒸気レス電気ケトル　PCH-G型　（応募番号：130014a2）

■企業・団体名　タイガー魔法瓶株式会社

《開発の考え方》

湯沸かし中に発生する蒸気を外に出さないことで、蒸気によるやけどの危険性を排除し、主な使用場所となるキッチンやリビングで安心してお使いいただけること。蒸気を出さないための特別な準備や湯沸かし後のお手入れを必要とせず、従来の電気ケトルと同様にお使いいただけることを目指した。

《仕様》

45秒のスピード沸騰（カップ1杯140ml）と6つの安心・安全設計

①蒸気レス沸とう②転倒流水防止構造③本体二重構造④給湯ロックボタン⑤通電自動オフ⑥カラだき防止

《審査評》

ここ数年で急速に普及した電気ケトルだが、家庭内でのやけど事故も増加している。転倒止水、蒸気レスといった先進的な機能を備えている本製品はこうした課題解決に資するものであり、社会的なニーズも高い。こうした安全対策は、日本が世界に先駆けて取り組んでいる分野でもあり、キッズデザインのグローバル化を見据えた点からも高く評価できる。

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門

子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性があるもので、安全に配慮されたもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　コードレスブラインドシリーズ「コードフリー」（応募番号：130130a2）
■企業・団体名　大湖産業株式会社

《開発の考え方》
「コードフリー」には、従来のブラインドにあった操作コードがありません。『コードの操作が面倒／分かり難い、コードが邪魔／絡まる』といったコードにまつわる様々なお客様の声がカタチになりました。操作コードを無くすことで、子供のいたずら・リスクを未然に防ぐ効果もあります。

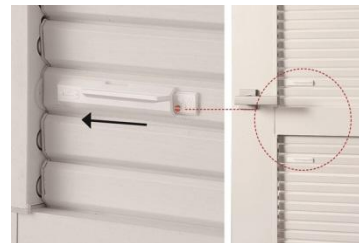
《仕様》
従来ブラインドから垂れさがっている操作コードを、外側からは触れない筐体内部に格納しました。格納することで操作性が劣ることのないように、巻上機構にコイルスプリングを採用し、操作負荷の軽減を図りました。

《審査評》
幼児が遊んでいたり寝ている際に、ブラインドの操作コードに首がひっかかり重篤な事故につながった事例が報告されている。本製品は操作コードを内部化し、ハンドルの上下のみで昇降を可能にして事故予防につなげている。子ども部屋のベッド脇のブラインドなどに活用することで、確実に事故防止効果が期待できる良質な提案である。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　通風建具 ルーバードア／引戸（応募番号：130311a2）
■企業・団体名　株式会社 LIXIL

《開発の考え方》
通風建具ルーバードア／引戸は、自然の風を活用して小さな子供から高齢者まで幅広い年齢層の方が体に負担をかけずに、エコで快適な暮らしが実現できるように開発しました。快適空間はもちろん、小さな子供がルーバーにぶら下がったり、手を挟んだりする誤操作についても徹底検証し、安全・安心と快適の両立を実現しました。

《仕様》
可動式のルーバーを開くことで風を通すとともに、ルーバー角度を変えて光の量の調整や視線抑制ができます。また、小さなお子さまが怪我をしないように羽根の動きを固定するチャイルドロック機能が付いています。

《審査評》
通風や採光のためにドアや引き戸に設けられるルーバーにチャイルドロック機能を追加し、子どもがルーバーに指を入れて開閉をした際の衝突、転倒事故予防に配慮した。引き戸タイプでは採光の面でブラインドと同等の機能も期待でき、操作コードによる子どもの首つり事故対策にも効果があると認められる。

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門

子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性があるもので、安全に配慮されたもの。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　　　視覚障がい者歩行誘導ソフトマット「歩導くん」（応募番号：130021a2）
■企業・団体名　錦城護謨株式会社／トーワ株式会社

《開発の考え方》
屋内において視覚障がい者誘導路の段差は、時に他者のバリアになることがあります。そこで表面を平らにすることで子どもや高齢者の転倒リスクを抑え、車椅子やベビーカーに配慮しました。形状は視覚障害者協会や盲学校の協力のもとテストを行い設計、また表面に案内を入れるとよりユニバーサルデザインの誘導路となります。

《仕様》
スタンダードセンター：長さ600×幅440×厚み1～7mm
スタンダードエッジ：長さ600×幅440×厚み1～7mm
ショートセンター：長さ320×幅440×厚み1～7mm
ショートエッジ：長さ160×幅440×厚み1～7mm
※商品外周はスロープ形状です

《審査評》
従来の誘導ブロックの凹凸は子どもやベビーカーの場合、つまづき、引っかかり事故の原因になることもある。ゴム素材を使用することで足裏に感じる質感や音、明度差で誘導路を認識するという新たなアイデアは、子どもを含む不特定多数の人が出入りする施設、空間などにおいて有効と考えられ、転倒事故防止に寄与する。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの未来デザイン　感性・創造性部門

子どもの創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

優秀賞　経済産業大臣賞

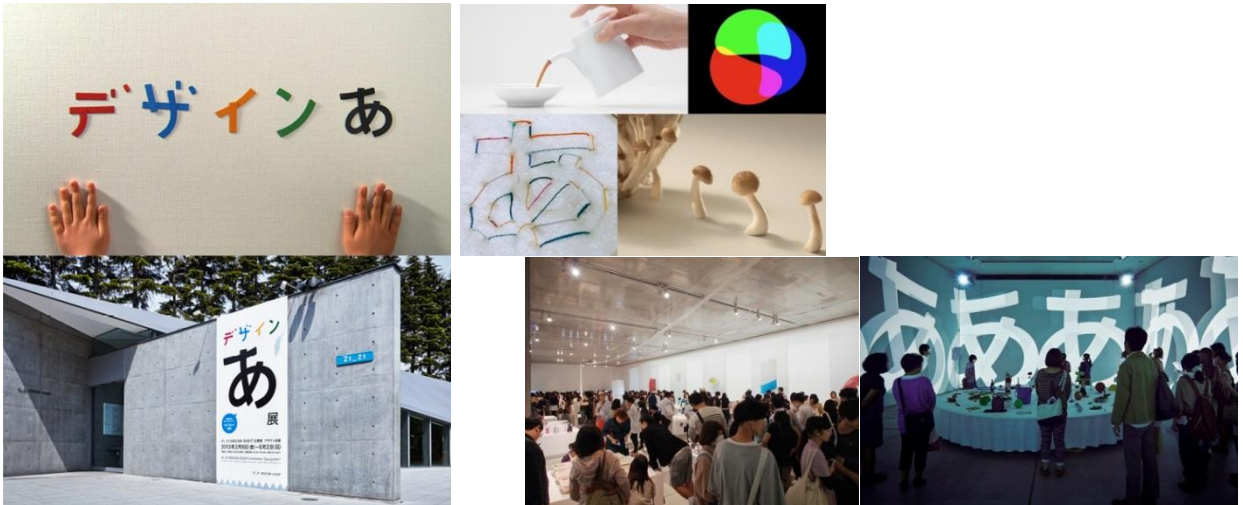
■作品名　「デザインあ」番組及び展覧会を通じたデザイン教育 （応募番号：130229c3 ）

■企業・団体名　NHK（日本放送協会）／NHKエデュケーショナル／21_21 DESIGN SIGHT／公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団

《開発の考え方》

子どもたちに楽しくデザインマインドを感じてもらうため、日本を代表する気鋭のクリエーターに参加を求め、斬新で質の高いコンテンツの制作を目指しました。個々のテーマも奇抜なものを取り上げるのでなく、日常にある仕組みやモノをユニークで意外な視点から構成し直すことで、子どもたちの自発的な気付きを促しています。

《仕様》

番組は、1話15分に1分～3分ほどの様々なコンテンツを盛り込んで構成。また展覧会は、寿司、本、器、お金、学校といった子どもたちの身近な題材に着目し、見るだけでなく実際に体感、参加できる展示にしました。

《審査評》

完成した形という「結果」ではなく、それが生み出された「行為・プロセス」に焦点を当てる試みは社会提案性・新規性の面で先進的なものである。デザインという行為はデザイナーという専門職だけでなく、使用者も大きく関わっているという気づきを、子どもにもわかりやすく、かつ深く伝えることに成功している。番組、展示と複合的なアプローチを実現しており、デザイン教育に関する新たな窓を開く優れたプログラムである。

子どもの未来デザイン 感性・創造性部門

子どもの創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞

■作品名 CAMPファシリテーター（応募番号：130320c3）
■企業・団体名 SCSK株式会社

《開発の考え方》
ワークショップの場において、こどもたちが自ら創造力、表現力、コミュニケーション力を伸ばしていくためには、主体的に参加することが最重要であると考えました。こどもたちの主体的な活動を促す「CAMPファシリテーター」の姿勢とポイントをデザインし、育成プログラムを開発、全国普及のためパッケージ化しました。

《審査評》
良質なワークショップを提供しているCAMPのファシリテーターの育成プログラムをパッケージ化し全国展開、すでに1千名を超える受講実績を持っている。通常、独自性と拡張性の両立はハードルが高いと思われるが、CAMPの取り組みはこれを見事に実現していると言えよう。プログラムは子どもの主体性を引き出す点に重きを置いており、教育分野における人材育成でも貢献すると考えられる。

奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞

■作品名 ものとこどもの観察ブック（応募番号：130216d3）
■企業・団体名 甲斐智恵／内山俊朗（筑波大学）

《開発の考え方》
本書は、こどもの行動を集めた資料集です。作りたいこどものモノや対象年齢といった要素からこどもの行動を検索し、こどもの製品開発の際に活用することが出来ます。
本書のこどもの行動のイラストひとつひとつから、何かしらのインスピレーションを得て、今後のこどもの製品開発に生かして頂けたら幸いです。

《仕様》
289ページ／A5変形判／カラー

《審査評》
キッズデザイン製品開発において最も重要な「子どもの行動観察」を網羅的にまとめた貴重なデータブックである。家具を遊具にしてしまう、狭い場所に入り込む、穴があれば指を入れる、など時にそれが事故原因ともなる子ども特有の行動を、ネガティブに捉えるのではなく、デザイナーを触発する発想ツールとして仕上げたアプローチに賛辞を送りたい。

子どもの未来デザイン　感性・創造性部門

子どもの創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　　　フレーベル　セレクトトイシリーズ（応募番号：130141a3）
■企業・団体名　株式会社フレーベル館

《開発の考え方》
年齢と共に発展していく遊びに対応し、他のものと一緒に遊ぶことで新たな関係性を発見できる玩具です。このシリーズの「発達マップ」は関東学院大学の土谷先生監修のもと、子どもたちが遊ぶ姿のモニターから考案しました。子どもたちがモノに興味をもち、人とのやり取りの中で成長していくための玩具として開発しています。

《仕様》
シリーズの規格（3、4.5、6cm）を揃えることで、玩具を組み合せて構成遊びができるようになっています。また、日本製で高い精度で作られています。
（主な材質：ミズキ　カバ　ブナ　コルク　オーガニックコットン）

《審査評》
0歳児から4～6歳児までの発達段階に合わせて構成された玩具シリーズであり、子どもが物の関係性を見出し、好奇心や創造力を段階的に育むことができる。保育現場や家庭での遊び一定の指標を与えるというコンセプトが明快である。自然に親しむといった不定形要素と積み木などの定形要素の両立にも配慮されており、熟考された発達マップに説得力がある。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　　　りんでん保育園（応募番号：130275b3）
■企業・団体名　社会福祉法人　法林会／工藤和美+堀場弘/シーラカンスK＆H

《開発の考え方》
入所希望者の増加や、保育ニーズに合ったスペースの確保、耐震上の問題と設備の充実により、保護者が安心して園児を預けられる状態で良い保育に専念する為に園舎の建て替えを行った。狭い敷地条件ゆえ、建物全体を保育スペースとして利用し、実用面だけでなく意匠性にも重点を置き子どもたちの創造力を高める建築を目指した。

《審査評》
半円形の建物を囲むように長いスロープが、敷地に点在する園庭と屋上庭園をつないでいる外観が印象的な建物である。狭小な敷地条件をうまく活用しつつ、子どもの多様な行動、遊びを喚起している卓越したアイデアが目を引く。保育室の空間構成も多様で、子どもの記憶に残りそうな秀逸な園舎設計である。

子どもの未来デザイン　感性・創造性部門

子どもの創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

特別賞　TEPIA特別賞

■作品名　ニコンネイチャースコープ「ファーブルシリーズ」（応募番号：130097a3）
■企業・団体名　株式会社ニコン／株式会社ニコンビジョン

《開発の考え方》
理科室の机の上で観察するものだった顕微鏡を気軽に野外に持ち出して使えるように、小型軽量化のために機構設計や素材選択を一から見直し、専用ストラップやケースも開発しました。子供たちの好奇心の赴くまま教室を飛び出し、身近な植物や昆虫をミクロの視点から観察することを可能にした携帯型実体顕微鏡シリーズです。

《仕様》
■倍率　20倍（シリーズ共通）
■寸法
【ファーブル】　観察時：184～238(H)×94(D)×100(W)　収納時：144（H）
【ファーブルミニ】観察時：156～202(H)×89(D)×90(W)　収納時：124（H）
【ファーブルフォト】観察時:162～202(H)×145(D)×106(W)　収納時:138(H)
※照明装着時

《審査評》
本格的な光学機器でありながら、植物や昆虫の野外観察用として手軽に持ち出せる実体顕微鏡であり、機能性、意匠性とも完成度が高い。子どもの観察力、創造力を喚起するツールとして、TEPIAの目的である技術、科学へ理解を促進するための基礎的なリテラシーの育成が期待できる製品として高く評価した。

子どもの未来デザイン　学び・理解力部門

子どもが地域社会、歴史、伝統工芸などをはじめ、様々な知識の取得や、運動力の向上、スポーツへの参画を促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

優秀賞　経済産業大臣賞

■作品名　コドモ里山ラボ東京森都心（応募番号:130322c4 ）

■企業・団体名　積水ハウス株式会社／株式会社アクタス／コクヨ株式会社／株式会社ジャクエツ／パナソニック株式会社

《開発の考え方》

クルドサックを囲む4棟の住宅から構成されたキッズでざいん街区、及びその中の1棟であるキッズデザインを生活空間で体験できるモデル棟から成る見学体験施設。これまでは住宅、家電等それぞれ単体で検討されてきたキッズデザインの取り組みを異業種とのコラボレーションにより、まち(街区)全体、家(モデル棟)全体で計画してキッズデザインを実現した。『子どもの行動心理』や『子どもの事故事例』から得た各社の知見が活かされている。

《仕様》

所在地：東京都八王子市堀之内

詳細及び見学申込：

http://www.sekisuihouse.com/style/suggestion/kids/satolab/

《審査評》

子どもが自由に楽しく、かつ安全に暮らすための街区及び住宅の提案を5社のコンソーシアムで実現したプロジェクトであり、キッズデザインの現在を身近に体験できるラボラトリーとして高く評価した。過去のデータに学ぶ安全設計や見守り動線配置に留まらず、自然や地域とのつながりについてもハード、ソフト両面からのアプローチを実施しており、キッズデザインの目指すひとつのモデルを具現化し、生活者訴求を行なっている事例として高く評価した。

子どもの未来デザイン　学び・理解力部門

子どもが地域社会、歴史、伝統工芸などをはじめ、様々な知識の取得や、運動力の向上、スポーツへの参画を促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

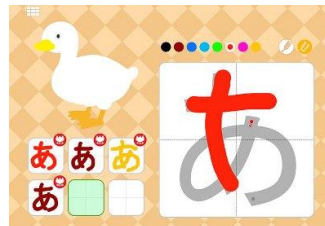
■作品名　子どもの環境行動分析による園庭・園舎デザイン検証プロジェクト（応募番号：130084d4）
■企業・団体名　株式会社ミサワホーム総合研究所／早稲田大学佐藤将之研究室／社会福祉法人コビーソシオ

《開発の考え方》
心身が発達段階にある子どもが長時間過ごす保育所を題材に、築山や吹抜、段差などの建築的仕掛けと、そこで見受けられる幼児の行動について分析や考察を行うことを通じて、物理的環境と子どもの発達的意味との関係について明らかにし、子ども視点に沿った保育空間デザイン手法を確立することを目指している。

《審査評》
園舎設計における築山など物理的環境が子どもにどう映っているのか、存在することによって行動に差異が見られるかについて、プロット・描画・ヒアリング・動作カウントの4種の調査を実施し知見をまとめており、良質なデザイン・設計支援データとして共有できる点を高く評価した。経験や実績に頼りがちであった園舎・園庭の空間デザインにおいて、科学的知見を提供することは社会有用性が高い。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　Mirai Child Education Project（ミライプロジェクト）（応募番号：130149a4）
■企業・団体名　株式会社センタウェーブ／株式会社システムクリエイツ

《開発の考え方》
実用段階にある最先端の方法で、新しい時代の常識的な観念「子供のものの考え方やライフスタイル」を生み出すことに制作者として価値があると考えています。私達は、ひらがなや漢字、ローマ字などの読み書きから頭のトレーニングや折り紙等多岐にわたる教育アプリを制作し、子供だけでも操作しやすい設計を心がけています。

《審査評》
教える・学ぶというアクションから、試す・身につくというアクションへの転換をデザインしたデジタルコンテンツである。内容は読み書き、折り紙など従来型のものだが、リアルでも試したくなる見せ方の工夫が随所に見てとれる。デジタル教材時代の知育・教育アプリケーションの今後のひとつの方向性を示すものとして高く評価した。

★は、3点で「色覚多様性の研究と理解促進、及び色弱者児童に対する教育環境づくりの支援」として
「奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞」を受賞

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門

子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性があるもので、安全に配慮されたもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

★■企業・団体名　特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構

■作品名　①人類本来の色覚多様性に適応した視覚情報デザインを研究・改善・認証するCUDプロジェクト

《開発の考え方》
色弱者や白内障の方を含め、色覚多様性に配慮した視覚情報作りを支援するNPOとしてCUDOを設立しました。教科書等の印刷物や機器類・施設サインに対応したCUD認証システムを構築し、さらに災害や気象情報等の表示もTV局や気象庁等と共同研究を進め、特に重篤な「特別警報」の色合いとして赤紫が採用されました。

《仕様》
色弱者への対応を優先させた特別な視覚情報を作るのではなく、一般色覚者と同時同様に共有可能な視覚情報作りを心掛け実践すること。公共性の高いプロジェクトには積極的に参画しCUD社会の実現を目指すこと。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの未来デザイン　学び・理解力部門

子どもが地域社会、歴史、伝統工芸などをはじめ、様々な知識の取得や、運動力の向上、スポーツへの参画を促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

★■企業・団体名　特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構

■作品名　②一般色覚児童と色弱者児童が共用・共有できる教育環境作りを支援するCUDプロジェクト

《開発の考え方》
男児の20人に1人は色弱者ですので小中校ではクラスに1、2名の割合です。CUDOでは教科書会社と共に一般色覚の子と共用共有できる教育環境作りを支援してきました。教科書のカラー化が進行する中が、色弱者児童にはかえって見づらくなる場合も少なくありません。CUD認証制度を確立し共用化を発展させた教科書作りを心掛けます。

《仕様》
義務教育教科書で使用される色使いや表現だけでなく、教員側からの質問や指示、副読本等の内容も精査し最適な学習への表現方法を見出すこと。C,P,Dの三色覚によるCUD認証制度に基づいた評価・改善をすること。

子どもの産み育て支援デザイン　地域・社会部門

保育園、学校、自治体、地域などの施設で使用され、複数の子どもや親を対象とした、安全かつ楽しい妊娠出産や子育てを支援する工夫がなされたもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

★■企業・団体名　特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構

■作品名　③色弱者当事者及びその家族に対し、色覚多様性の理解と生活上の相談・助言プロジェクト

《開発の考え方》
CUDOでは色弱者各々が直面している苦労や問題提起の声をCUD活動に反映させることを重要視しています。そのため色覚相談窓口の設置や、企業も含め気軽に参加戴ける無料相談会も実施して来ました。また色弱者の殆どは男性ですが、色覚特性は女性系列（X因子）で遺伝をするため女性側・母親側への正しい知識や子育て支援情報の提供も必須です。

《仕様》
色覚特性をC-P-D-A-Tの5タイプとして社会提案した呼称を始め、圧倒的多数のC型の人々に対し正しい知識の提供と、CUD活動への理解協力を得るための広報、そして色弱者へのフォローアップに注力すること。

《審査評》
日本人男性では20人に1人、女性では500人に1人は色弱者とのデータがある。本プロジェクトはカラーユニバーサルデザインに基づく配色評価基準や認証、検証ツールの開発を実行している活動で、特に色弱者児童の生活環境、教育環境の向上にも寄与している点でキッズデザインの主旨に適う。教科書、文具、玩具など幅広い分野で実績がある点を高く評価したい。

子どもの産み育て支援デザイン　個人・家庭部門

**主に子育ての当事者である親・個人(妊婦含む)が使用、利用し、
安全かつ楽しく育児に取り組める夫や心理的な負担や不安を軽減する工夫がなされたもの。**

優秀賞　少子化対策担当大臣賞

■作品名　ベビー休憩室コンセプトブック（応募番号：130217c5 ）

■企業・団体名　コンビウィズ株式会社

《開発の考え方》

赤ちゃん連れの親子の外出環境を整備する一助として、利用者が気持ちよく、利用しやすいベビー休憩室とは何かを考えました。アンケート調査結果などユーザデータを交え、レイアウトプランの数々を提案しています。

《仕様》

A4カラー中綴じ冊子（30ページ、表紙・裏表紙を除く）

《審査評》

子ども連れの外出の際に最も気になる点が授乳や休憩の場所探しである。本提案は保育環境づくりのノウハウを公共知として開示し、安心で快適なベビー休憩室のデザインを広めることに寄与している。規模や用途に応じた空間提案や、休憩室に関する子育て層へのアンケート調査結果など、地域の商業施設や公共空間設計において利用価値が高い情報を提供しており、男性の育児参加を促す空間づくりのポイントにも触れている。「子ども・子育て支援新制度」導入へ向け、民間、自治体による地域の子育て支援拠点づくりの面から、少子化対策担当大臣賞にふさわしいと判断した。

子どもの産み育て支援デザイン　個人・家庭部門

主に子育ての当事者である親・個人(妊婦含む)が使用、利用し、
安全かつ楽しく育児に取り組める夫や心理的な負担や不安を軽減する工夫がなされたもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　「アンジェリーノ プティット」(電動アシスト自転車・自転車)(応募番号:130200a5)
■企業・団体名　ブリヂストンサイクル株式会社

《開発の考え方》
お子さまとお母さんの安全性を最優先とし、さらに快適性と利便性を追求し、「幼児2人同乗自転車」の使われ方を多面的角度から想定し、お母さんの使い勝手をとことん考えて開発。更に、機能とデザインを融合させ、お子さまとお母さんの楽しい会話の場、新しいライフスタイルを提案した商品です。

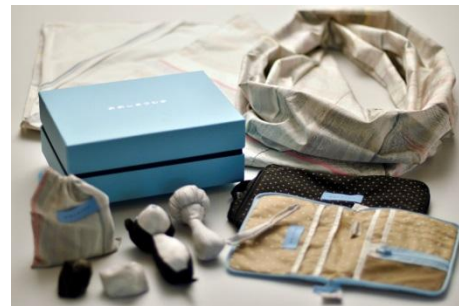
《仕様》
「幼児2人同乗用自転車安全基準」適合、フロントに専用チャイルドシート装着、前後20インチ小径タイヤ採用の低重心設計。更に、細部まで、こだわりの安心・快適な機能が充実した、「Child Care Bike」=子育て応援自転車です。

《審査評》
低重心による安定性、足のスポーク外傷を防ぐガード、転倒防止のロック機能など、3人乗りに特化したデザインアプローチは社会ニーズが高く、事故頻度から見ても重要な取り組みである。3人乗り自転車は日本独特の分野であり、従来の自転車領域を超えて、世界に先行してキッズデザイン対応を施す意味がある。今後のさらなる展開に期待したい。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　伝統文化を育児に活かす「おおしまつむぎ」(応募番号:130193a5)
■企業・団体名　窪田織物株式会社

《開発の考え方》
伝統工芸品として認知されている大島紬織物を新しい分野への用途拡大としてベビー用品の開発にトライした。素材の絹は、天然素材なのでお母さんにも赤ちゃんにも優しく安全であります。「ゆりかごから大島紬」をコンセプトに家族の宝物である赤ちゃんに、日本の宝物をまとってもらいたい。それが私たち、窪田織物からの願いです。

《仕様》
スリング55×70cm
おくるみ100×100cm(裏地)今治タオル使用
おむつバッグ18×25×6cm
母子手帳ケース20×15cm
ガラガラ約15cm
お手玉約5×5cm
鹿児島県産

《審査評》
通気性がよく軽く、肌に優しい伝統技術・大島紬の機能を活かし「ゆりかごから大島紬」をコンセプトに、ベビーズギフトとしてリデザインされた製品。地域の伝統産業が従来の使われ方から一歩踏み出し、子どもや親に触れてもらう文化を創出していくことで、子育て支援の分野に地域産業が関わっていくストーリーが出来上がっていく。各地域産業への応用・展開へつながる取り組みとして高く評価した。

子どもの産み育て支援デザイン　個人・家庭部門

**主に子育ての当事者である親・個人(妊婦含む)が使用、利用し、
安全かつ楽しく育児に取り組める夫や心理的な負担や不安を軽減する工夫がなされたもの。**

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　　電動鼻水吸引器　ベビースマイル　S-302　（応募番号：130339a5）
■企業・団体名　　シースター株式会社

《開発の考え方》
赤ちゃんの鼻水に困っているお母さんは意外に多く、誰でも簡単に操作ができる鼻水吸引器があれば、赤ちゃんもお母さんも健康で快適に過ごせるのではないかと考えたのが開発の原点です。
操作性だけでなく、赤ちゃんのいるライフスタイルに自然に溶け込み、お母さんが使ってみたいと思えるようなデザインを目指しました。

《仕様》
吸引圧：-55kPa±10％
サイズ：200×42×42mm
重量：170g（電池別）
対象年齢：0才～
付属品：シリコンノズル2個、単3アルカリ乾電池2本
医療機器認証番号：224ALBZX00034000

《審査評》
家庭で簡単に乳児の鼻水吸引ができるようにと考案された電動式鼻水吸引器で、日頃、親が実感している頻繁に吸引ができたら、というニーズに応える製品。母親が赤ちゃんの鼻水を口ですすると風邪などの二次感染の恐れもあり、母子ともに健康配慮できる点も良い。さらなる小型化、静音化を追求して欲しい。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　　BABYZEN YOYO　3つ折りストローラー「ヨーヨー」（応募番号：130168a5）
■企業・団体名　　株式会社ティーレックス

《開発の考え方》
子育てが豊かに楽しくなるようにデザイン性を重視し、フランスのシックなデザインに仕上げました。また、「快適な子育て」の支援の意味を込めて、女性でもとり回しがしやすいように、開閉動作や軽量化、持ち運びのしやすさにこだわって開発致しました。

《仕様》
【商品サイズ】
《使用時》　　タテ（高さ）86×ヨコ（幅）44×奥行（長さ）106
《折りたたみ時》タテ（高さ）18×ヨコ（幅）44×奥行（長さ）52

《重さ》　　5.8kg

《審査評》
折りたたんだ際にはショルダーバッグ程度の大きさに収まり、手で持ち運べるだけでなく、航空機内にも持ち込める軽量・シンプルなベビーカーで、意匠性も高い。子ども連れの積極的な移動を促す、子育てライフスタイルツールとして優れたデザインを持つ製品である。

子どもの産み育て支援デザイン　地域・社会部門

保育園、学校、自治体、地域などの施設で使用され、複数の子どもや親を対象とした、安全かつ楽しい妊娠出産や子育てを支援する工夫がなされたもの。

優秀賞　少子化対策担当大臣賞

■作品名　有田市立そとはま保育所（応募番号：130068b6 ）

■企業・団体名　有田市／アトリエ・アースワーク

《開発の考え方》

ふわりとした3次曲面の屋根はそのまま室内空間を形成する。
保育室の外は廊下ではなく居場所ととらえ、
子ども達がお気に入りの場所を探せる”まちのような保育所”を目指した。
“まち”の中にはオープンな園長室や、地域子育てセンターがあり、
常に子どもを見守る環境を整えた。
地域の子育てネットワークの拠点である。

《仕様》

[規模]
敷地面積：4,911.02㎡
建築面積：1,557.61㎡
延床面積：1,298.77㎡
鉄骨造平屋建
[仕上]
屋根：ガルバリウム鋼板 本ハゼ一文字葺
外壁：弾性ベルアート塗装
内壁：ビニルクロス貼
床　：無垢フローリング 北欧パイン
天井：杉板張 紀州材

《審査評》

印象的な大空間と間仕切りを極力減らした構成は、乳児保育のみならず子育てに関する多目的な活用が想定されており、地域の子育て支援活動の拠点にふさわしいものである。
待機児童対策としての効果はもちろん、施設内に地域子育て支援センターを併設し利用者が急増するなど、これからの保育施設の先進モデルとして高く評価した。保育士を目指す高校生ボランティアの体験学習イベントに活用されるなど、若年層と子どもの触れ合いの促進にも寄与している点も良い。

子どもの産み育て支援デザイン　地域・社会部門

保育園、学校、自治体、地域などの施設で使用され、複数の子どもや親を対象とした、安全かつ楽しい妊娠出産や子育てを支援する工夫がなされたもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　　　ハッピープールれんらくちょう　（応募番号：130103c6）
■企業・団体名　株式会社エクスプラウド

《開発の考え方》
表紙に馴染みのあるキャラクターを入れることにより親も子も親近感のある連絡帳となってます。ただし、連絡帳としての記載内容は保育園により重視する項目が違うため無料であるが使用をしない園もありました。その後50園ほどリサーチし、一番使い勝手の良いものとしました。

《仕様》
A5サイズ　無線綴じ　76P　年4回（4月・7月・10月・1月）発行し、無料で保育園に配布しています。

《審査評》
デジタル・スマホ全盛時代においても、連絡帳は親と保育者の密なコミュニケーションツールとしての重要な役割を担っている。子育て支援への企業参画の形として「広告」という付加価値に着目し、新たなビジネスモデルを作り上げた点に新規性がある。今後、地域企業の参画など、コミュニティ単位でのさらなる展開に期待したい。

未来を担う消費者デザイン部門

小中学生（６～１５歳）を対象とし、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、社会環境づくりなどで、新たな発想、工夫、手法があるもの。

優秀賞　消費者担当大臣賞

■作品名　静岡市こどもクリエイティブタウン『ま・あ・る』による「しごと・ものづくり体験」

（応募番号：130252c7）

■企業・団体名　株式会社丹青社／静岡市

《開発の考え方》

こどもたちが主体的に活動や運営をデザイン・実践するこどものまち「こどもバザール」。開館準備から開館後の運営において、こどもたちが、店長や店員として、店の種類や内容、看板・装飾、通貨デザイン、店舗事業計画、商品開発、しごと内容、まちをよくするための演出やルールづくり等を、考え、工夫し、活動しています。

《仕様》

■ロケーション　：　静岡市清水区辻１－２－１　えじりあ3・4階

■参加体験方法　：　来館したこどもたちは、市民登録をして、市民証をもらって、体験、活動する。

《審査評》

子どもたち自らが店舗設計から商品開発、販売やサービスに参画し、社会や経済の仕組みを学ぶという、健全な消費者育成という点において卓越した取り組みである。特筆すべきは、一過性のイベントではなく常設施設として運営されている点で、子ども会議によって店舗や商品の見直しを行なうなど街そのものの継続的な改変・進化や参加者交流を促している点に新規性・独創性があり、高く評価できる。

未来を担う消費者デザイン部門

小中学生（６～１５歳）を対象とし、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、社会環境づくりなどで、新たな発想、工夫、手法があるもの。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　子ども達に未来の学びを伝える、新たな地域図書館ワークショップ　（応募番号：130241c7）
■企業・団体名　富士通デザイン株式会社／株式会社メタデザイン／長崎市立図書館

《開発の考え方》
様々な情報があふれるメディア社会においては、子ども達が主体的に情報を選択・判断し、活用していく「情報活用力」が求められる。図書館にある従来の情報源に加え、メディアを使った新しい方法で、地域とつながり社会の課題を解決するスキルを身につけ、メディア社会において主体的に「生きる力」を養うことを狙いとした。

《仕様》
あるテーマに対し、複数の情報を多角的に読み解き自分の解釈をつくる、チームで解決策を組み立てる、考えを外部に伝え対話する、一連のプロセスを通して、実社会で活用できるメディアリテラシースキルを身につける。

《審査評》
子どもが社会に溢れる情報を選択・判断・活用していく力を身につけるプログラムであり、課題発見から理解、行動まで一貫した構成で生活者、消費者として欠かすことのできないリテラシーを育むものとして高く評価した。地域図書館を舞台としたワークショップで体験、学習するという点で独自性、新規性も高い。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　旅いく　（応募番号：130269c7）
■企業・団体名　株式会社JTBコーポレートセールス

《開発の考え方》
旅いくは、子どもの年齢を考慮した成長に繋がる旅・体験やお出かけ情報を提供している。体験が子どもの成長に好影響を与える要素を体系化し、『生きる力の芽』を育てる事を目的とした独自設計で体験商品開発を行っており、体験プログラム運営者対象に運営ノウハウ勉強会の実施とマニュアル配布により品質管理を行っている。

《審査評》
社会で生きる力を育むための多様なプログラムを、本業である旅のノウハウを活かし、地域や企業との連携で実現した。多様な職業や地域産業・経済への理解促進、子どもどうしのコミュニケーション力の向上につながる構成力は秀逸である。大学の研究成果に基づくプログラム開発も好感が持てる。

未来を担う消費者デザイン部門

小中学生（６～１５歳）を対象とし、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、社会環境づくりなどで、新たな発想、工夫、手法があるもの。

特別賞　審査委員長特別賞

■作品名　magno（マグノ）（応募番号：130206a7）
■企業・団体名　Singgih Susilo Kartono - Piranti Works / Mie Suzuki - Amber

《開発の考え方》
この「小さく機能的な木工製品」は、素材を有効に活用しながらインドネシアの小さな村で雇用創出をしています。植林、有機農業等も平行して行っています。多様性を保ちながらコミュティを豊かにしてゆくこの活動は、生産と消費のバランスの在り方に対する、未来を見据えたシステムのデザインとも言えるでしょう。

《仕様》
チーク、パイン、マホガニー、ジャワ黒檀等の木材を素材に、すべて手作りで作られている。仕上げはオイル仕上げ。

《審査評》
インドネシアでは違法伐採などの森林問題が起きている。本シリーズは少ない素材で機能性の高い木製品をつくり、素材の有効活用と雇用創出を同時に満たすという活動から生まれた。デザインも洗練されており、こうした製品を手にとることで子どもが環境、経済、デザインすべてに思いを馳せることができるという点で、未来の消費行動への気づきに一石を投じる提案であると評価し、特別賞とした。

キッズデザインの3つのデザインミッションのいずれかに基づくデザイン

復興支援デザイン部門

東日本大震災の被災地へ向けた復興支援の取り組み・活動で、子ども視点のあるもの。
被災地の子どもたちが安心して笑顔のある暮らしを一日でも早く取り戻すことに寄与する取り組み。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　東北復興支援プログラム「きっと わらえる 2021」（応募番号：130195f8）
■企業・団体名　パナソニック株式会社

《開発の考え方》
被災地の子ども達に映像制作を通じて笑顔と元気を取り戻してもらう復興支援プログラムです。
「塞ぎこむ子どもの心のケアをして欲しい」との要望が多く寄せられ、震災後、普段口に出来なかった心の奥にある想いを子ども達がカメラの前で語る事で、塞ぎこんだ心を整理し少しでも開放するきっかけとなる事を目的としています。

《審査評》
被災地の子ども自身による映像製作プログラムであるが、企画力や表現力、伝達力を育む総合的な取り組みとなっている。現在と未来という時間軸を据えたアイデアも秀逸で、10年後の自分へメッセージを投げかけるなど継続性の視点も盛り込まれている。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　被災地の子どもたちに将来の夢を！「家族ロボット教室」（応募番号：130220f8）
■企業・団体名　株式会社富士通コンピュータテクノロジーズ／岩手県／岩手県立大学／一関工業高等専門学校／NPO法人 WRO Japan

《開発の考え方》
被災地の子ども達に将来の夢や目標を持ってほしいという思いの基、岩手県各地で月1回開催の家族参加型ロボット教室である。頭を悩ませながらも、工夫してモノをつくることの楽しさを知ってもらうことが狙いである。県の教育機関等と連携し、身近に学ぶ環境があり、科学者やエンジニア等の夢が地元でも叶うことを伝えたい。

《審査評》
被災地の子どもを支援するワークショップの中でも科学者、エンジニアの育成につながる専門的知見を育むという明確な目的を持ったプログラムである。子ども自身がなりたい職業や進みたい道を見出すための契機になるという点で、未来へつながる支援の形を具体化している。

復興支援デザイン部門

東日本大震災の被災地へ向けた復興支援の取り組み・活動で、子ども視点のあるもの。
被災地の子どもたちが安心して笑顔のある暮らしを一日でも早く取り戻すことに寄与する取り組み。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　東北子どもまちづくりサミット（応募番号：130284f8）
■企業・団体名　公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

《開発の考え方》
被災地の子どもたちは支援される“客体”ではなく、地域の一員であり復興における“主体”である。子どもたち自ら地域の復興に向けたまちづくりに声をあげ、社会に参加することができる機会を提供し、子どもをエンパワメントすると同時におとなが理解を深めることで、子どもの声が反映されたより良いまちを目指す。

《仕様》
岩手県山田町、陸前高田市、宮城県石巻市の子どもたち自身が、地域の復興に向けたまちづくりへの活動や意見・思いを政策決定者や地域住民等のおとなに発表し、子どもとおとなが共に話し合うサミットを継続的に実施。

《審査評》
復興のまちづくりはどうあるべきか、を被災地の子ども自らが考え、政策決定者や行政、住民にプレゼンテーションしまちづくりを協働して考えるという非常に重要なアプローチを実行している。地域の未来を担う子どもが自分の暮らすまちの今とこれからに真剣に向き合う契機を生み出すとともに、その意見や発案は関係者にとってもおおいに刺激となるはずである。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

■作品名　みどり豊かで笑顔あふれるまちを目指す『まちみどりプロジェクト』（応募番号：130288f8
■企業・団体名　積和建設東北株式会社／積水ハウス株式会社

《開発の考え方》
2010年より地域の里山で、地域の自生種・在来種の種を拾って育て地域に広げる活動を実施してきた。2011年3月に発生した東日本大震災以降は、震災前の春と震災後の春をつなぐ「希望の苗」として提供し、被災地で失われた緑の再生に役立てた。またみどりの力を被災地のコミュニティ形成に生かすべく、ゴーヤのグリーンカーテンを積水ハウスが施工した仮設住宅等で設置し、更にグリーンカーテンに関する収穫祭などのイベントを実施した。

《審査評》
震災前から実施されていた地域の在来種の種を育てる取り組みが、図らずも震災後に地域を取り戻すための活動に活かされた。環境保全への向けた活動であることももちろん重要だが、植物の成長と子どもや地域の成長・復興を重ね合わせて感じることができるという点に感じさせるものがある。

★8月中旬以降に第1回から第7回のキッズデザイン賞受賞作品が検索可能なサイトがオープンします。
キーワード検索や分野別、キッズデザインのミッション別など様々な条件検索ができるサイトです。
ぜひご高覧くださいますようお願い申し上げます。

＜応募企業様からのお問い合わせ先＞

キッズデザイン協議会　事務局

Tel：03-5405-2141（平日 10：00～17：00）／ Fax：03-5405-2143 ／ E-mail：info@kidsdesign.jp

＊受賞作品の画像素材のご要望等につきましては、下記、広報事務局までお問合せ下さい。＊

＜本資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先＞

『第7回キッズデザイン賞』広報事務局（フロンティアインターナショナル内）

担当：田中・森・千葉

Tel：03-5778-4844／ Fax：03-5778-6516／E-mail：frontier-pr@frontier-i.co.jp